

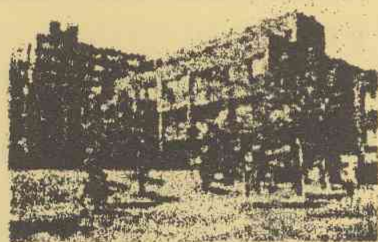
NCNL 図書館だより

No.14 Dec 12 2003

7km 離れた「知の宝庫」上越教育大学附属図書館

昨年9月4日に本学図書館と上越教育大学附属図書館との間で、相互協力に関する交流協定書が締結されました。この協定により、両大学教職員・学生がいずれの図書館においてもスムーズに図書の閲覧と借用ができるようになりました。もちろん学外利用者としての制約はありますが、10年前の看護短大開学当初から見れば、隔世の感があります。

両大学図書館の相互の利用状況は、平成14年度に上教大附属図書館で利用登録した本学学生・教職員の数が42名、平成15年度は45名とのことです（上教大附属図書館調べ）。逆に本学図書館の利用カード登録された上教大の皆さんは現在9名、図書館の利用は平成14年度21名、平成15年度は31名と、いずれもまだ利用頻度は低いようです。



大学図書館
全景

上越教育大学附属図書館の利用にあたって

・上越教育大学の図書館を利用させていただく際には必ずカウンターで受付をしてください。
・利用カードは翌平日以降の発行になりますので、申込をした当日に借りることはできません。申込の際には学生証を持参してください。
・上越教育大学の蔵書は図書館ホームページで検索できます。その他、利用条件などもホームページに掲載されていますので、必ず事前に確認してください。

URL <http://www.lib.juen.ac.jp/>
(当館ホームページリンク集にもあり)

短期大学図書館長 関谷 伸一

上教大附属図書館には教育・小児発達・心理学関係の多くの蔵書があります。先日、私は同図書館を訪ね、本学図書館には無いタイトルのDVDを視聴させていただきました。単に蔵書のみならず、ビデオやDVDも幅広く収集されており、ありがたいばかりです。大画面のモニターにリクライニングシート、しばし時の経つのを忘れてしまいました。両大学図書館が持たざるを互いに補い合うことができれば真の相互協力といえるのですが、私どもの方が大いに利用させてもらっているのが現状かと思えます。もっとも両大学間の地理的な隔たりが約7kmもあることが、互いの図書館を遠い存在にしてしまっており、特にマイカーを持たない学生にとっては大きな問題です。それでも上教大附属図書館という知の宝庫の探検を、看護大の学生の皆さんに、お勧めしたいと思えます。

他図書館の利用にあたって

長期休暇期間中、帰省先など他の図書館を利用させてもらう機会も出てくるかと思えます。必ず事前に利用条件を確認し、マナーを守って利用してください。

○公共図書館（都道府県立・市町村立）

住民票がなくても、帰省中の学生には貸出可能なところもあります。事前に確認してください。

○公立大学図書館（都道府県立・市立大学）

公立大学図書館共通閲覧証がありますので、図書館カウンターに申し出てください。

○国立・私立大学図書館等

紹介状が必要な場合は図書館に申し出てください。発行に時間がかかるので早めをお願いします。

※各図書館の蔵書検索は当館ホームページのリンク集から利用できます。

ロンダ・シービンガー (Londa Schiebinger) 著/小川真理子・東川佐枝美・外山浩明訳

『ジェンダーは科学を変える!?!』 工作舎 2002 ※

助教授 朝倉 京子

この本は、ロンダ・シービンガー (ペンシルヴェニア州立大学歴史学教授) の三作目 *Has Feminism Changed Science?* (Harvard University Press, 1999) の翻訳である。訳者は、自身で「フェミニズムと科学/技術」(岩波書店, 2001) などの著作があり、シービンガーの一作目と二作目の訳出を行った小川真理子氏(他訳者2名)である。

この著作におけるシービンガーの分析は、「科学における女性」、「科学文化におけるジェンダー」、「科学内容のジェンダー」と進む。まず「科学における女性」では、歴史的に、女性が科学者集団から排除されてきた経緯があることや、現在の科学者の世界における女性科学者と男性科学者の領域の棲み分け、及び、科学の世界での女性科学者の地位の低さなどを性差中立的な視点から細かく分析している。「科学文化におけるジェンダー」では、価値中立を主張する科学が、その一方で培ってきた慣習や風俗が明らかにされる。さらに、その科学独自の文化とジェンダーとの歴史的な衝突について極めて端的に書かれている。「科学内容のジェンダー」では、医学、生物学、霊長類学、考古学、物理学と数学などの科学の内容に関するジェンダー分析を通して、これまで科学的真理と考えられてきた知見がいかに男性的価値によって導かれているかが暴露される。まさに、科学は人間の営為のひとつであると

実感させられる分析結果である。

この著作の優れている点は、これらの分析結果にとどまらない。フェミニズムといえば女性中心のやや偏った主張を思い起こす方も多いと思うが、シービンガーは読者に対して、女性中心の科学や、女性独自の科学を構築することに警告を発し、科学は女性を含めたすべての人間に貢献するものではないからと述べている。この著作は、女性の視点の重視を掲げる近代的なフェミニズムの範囲を超えて、世界中の広い領域で受け入れられているが、この理由は、各所に散りばめられた幅広い知見と、偏りをできるだけ排除した分析、鋭い洞察に基づく記述によって理解できるだろう。女性教育研究者、女性実践家はその大部分を占める看護学にとっても、多くの示唆が得られる著作と確信する。

なお、この著作はすでにドイツ語、韓国語、ポルトガル語での出版が決まっている。著者のシービンガーは現在、各国を駆け回っており、来春には来日しての講演が予定されているので(2004年3月13日)、ご関心のある方は、お茶の水女子大学COEプログラム「ジェンダー研究のフロンティア」ホームページ (<http://133.65.148.120/f-gens/activities/event/schedule/index.html>) を参照されたい。

※ISBN 4-87502-362-6 図書館請求記号 404-Sc3

学外利用者の声

「図書館を利用して」

上越健康福祉環境事務所 保健師 富井 美穂

平成15年度新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会を受講し、その際に、貴大学の図書館を利用させていただきました。ディベートやレポート作成に文献は必須でしたが、専門書の蔵書が多くあり、大いに活用させていただきました。また、講習会で、インターネットで本を探す方法を教えていただいたので、あきらめの早い私でも挫折することなく必要な本を手にすることができました。学生時代に利用できたら、もっと勉強する気になれたのに(?) などと思いつつ、こんなに恵まれた環境で学べる学生の皆さんを大変うらやましく思います。実は、講習会を受講する前は、卒業生以外が大学の図書館を利用できることを知りませんでした。この講習会を機会に、現在も学外利用者として図書館を利用させていただいています。周りの保健師にも、図書館利用をPRしたいと思っています。

※講習会の一コマとして、関谷短大図書館長と阿部司書で文献検索講習を行いました。学外者も利用できることは意外と知られていないようです。これを機にこれからもご利用ください。

本の虫への道のり

私は、わずか3年前までは、活字を読むといえば学校の教科書を読むぐらいだった。本というと、つまらなくて御固いというイメージがあり、なかなか読んでみようという気になれなかったのだ。しかし、3年前の夏『バトルロワイヤル』という映画の原作本を、友達の家で見つけ、その映画を見たことがあったのでなんとなく借りて読んでみた。すると、映画と比べられないくらい、面白くて面白くてしょうがなかったのだ。それ以来、私の趣味の項目に読書が仲間入りした。そして、

大学 1年生 大角 つばさ

いろいろな本を読んでいくうちに、自分に合う本・合わない本があることを知り、あの時、自分に合う本と出合えて本当によかったと感じた。

3年前までの私を思い返すと、私は自分にあつた本に出会えず、食わず嫌いならぬ、本の読まず嫌いをしていたのだと思う。本は私にとって、いろいろな世界を見せ、たくさんのことを教えてくれる親友となった。これからは、本とのいい出会いをもっとたくさん経験して自分を成長させていきたいと思う。

資料を求めて

大学 2年生 牧垣 陽子

基礎看護学実習IIにおいて、現在市販されている福祉用具を受け持ち患者さんと一緒に確認するという計画を立てた。私は用具の説明と参考価格が両方記載されている資料を図書館で探したが、用具の説明とイラストが記載されているもの、用具の名称と参考価格が記載されているものしかなかった。患者さんにとって、福祉用具がいくら有用でも価格は重要な情報である。そこで私は用具の説明と参考価格が両方記載されているものを求め、ある福祉用具業者を訪ねることで、条件を満たしたカタログを入手した。

実習が終了後、ほかの学生にも役立つ場面があるのではないかと思い、図書館においてもらえないかと司書さんに提案したところ、特定の業者のカタログを図書としておくことはできないが、ブラウジング資料としておいておくことはできるとのことだった。

図書館にはリクエストという方法もある。蔵書してあるものだけを資料対象とするのではなく、自分の目的に沿った資料を求めることも図書館の有効な活用方法ではないだろうか。

読書で世界が広がる楽しさ

短大 地域看護学専攻 森山 恵里

私は本を読むのが好きです。読むといっても、昔の有名作家(?)の小説ではなく、エッセイやノンフィクションなどです。暇があるときは、時間を忘れ何時間も読みふけることがあります。

お勧めの本は、鎌田實さんという人が書いた「がんばらない」という本です。これは、地域医療を実践する中での患者さんとの関わりが書かれているもので、障害や病気をもちながらがんばって生きている患者さんの姿に感動する作品です。

本を読むことは良いとよく言われますが、私も

そう思います。いろんな人の体験や考え方が分かり世界が広がる感じがするからです。また、活字を読みながらその場面を自分の中で想像する楽しさもあるし、小説を読みふけると現実逃避(!)にもなると思います。しかし、本を読むことは、難しいとか面倒くさいというイメージがあるかもしれませんが、もし分からない表現があっても、何度も読み返したり飛ばしたりしながら自分のペースでいいので気軽に読んでみてはいかがでしょうか。

図書館から一言・・・

図書館へのご意見をどんどんお待ちしております。図書館入り口のご意見箱やメールでもどうぞ。リクエストも受け付けています(一般書・小説は近くの高田図書館もご利用ください)。

毎月の図書委員会で検討後、お返事いたします。

図書館からのお知らせ

その1 本学資料コーナー、地域資料コーナーを設置しました

1階一番奥の壁際（紀要棚隣）に2つの新コーナーを設置しました。どちらも、禁帯出のシールが貼ってあるもの以外は貸出できます。どうぞご利用ください。

本学資料コーナー ※ピンクの○シールが目印

本学が発行している資料を一箇所にまとめました。紀要・年報・報告書類、学生実習レポート、本学関係新聞記事ファイル、大学ニュース、後援会だよりなどがあります。

地域資料コーナー ※青い○シールが目印

移動式書架にあった本を中心に、新潟県に関する資料を一箇所にまとめました。長い間、資料整備などでご迷惑をおかけいたしました。どうぞご利用ください。

今後、県内の病院や保健所などの刊行物を積極的に収集し、さらに充実をはかっていく予定です。

その2 図書館に自動ドア、非常口が設置されました

12月6日(土)を休館して、自動ドア・非常口設置工事を行いました。これに伴い、視聴覚資料の配置が変わります。同じ場所にあった新書・文庫コーナーは1階ソファ壁際に移動いたしました。

また、12月22日(月)を休館して、天井扇設置工事を行います。これは、図書館1・2階の温度差を解消するものです。

いろいろご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

その3 禁帯出資料の一夜貸しができるようになりました

禁帯出資料（貸出できない資料）の基準は下記のようにになりました。

- ・辞書類など。ただし、2冊以上ある場合は1冊のみ禁帯出とし、他は貸出します。
- ・継続して購入している白書・年鑑類の最新版
- ・雑誌の最新号・紀要類

また、禁帯出資料の一夜貸しを始めます。閉館30分前から受け付けますので、カウンターでお申込みください。借りた本は翌開館日9時（土曜は9時半）までに必ずお返してください。

※視聴覚資料は対象外です。

その4 「冬休みにおすすめの本」フェアを開催いたします。

図書館では、「冬休みにおすすめの本」フェアを開催いたします。長い冬休み、ゆっくり本を読んでみませんか？ここではそのうち3冊を紹介します。詳しくは、別刷リストをごらんください。

○シルヴィア・ナサー／著 塩川優／訳『ビューティフル・マインド』新潮社 2002年

1994年にノーベル経済学賞を受賞したジョン・ナッシュの波乱の半生を書いた伝記である。20歳代のジョン・ナッシュは天才の名をほしいままにしたが、30歳代で統合失調症になり、以来40年近く病に苦しみ続けた。ノーベル賞受賞後のパーティで「これで信用を取り戻せば、自分はクレジットカードをどうしても持ちたい」と語っている。本書をもとにした映画「ビューティフル・マインド」のDVDも発売されている。(富川大学図書館長)

○ジャレド・ダイヤモンド／著 倉骨彰／訳『銃・病原菌・鉄』上・下 草思社 2000年

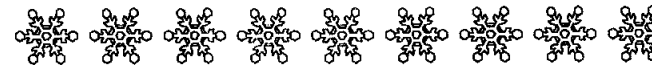
文明はなぜ栄えたり滅んだりするのか。人類の歴史を動かしてきた原動力は何だったのか。歴史上の勝者と敗者が生まれる原因は何なのか。ぜひ読んでみてください。(関谷短大図書館長)

○横山蒼鳳／著『医者知事 君健男 そのぬくもりをさがして』新潟日報事業社 2003年

1974年から1989年まで4期新潟県知事を勤めた医師出身の君健男（1989年胃がんにより没）。県立病院の労働組合員として彼と交渉を重ねた著者が書く。当時の医療現場の労働状況、県立病院設立の経緯などがよくわかります。県立病院をめざしている方、新潟県医療行政に関心のある方、ぜひ読んでみてください。(阿部司書)



冬休みにおすすめの本50冊



1か月近い冬休み、どう過ごしますか？夏休みと違って、こたつでゆっくりという人も多いのではないのでしょうか。図書館にある本は専門書だけではありません。小説、エッセイ、ルポルタージュなどの読み物もたくさんあります。そんな中から、図書館では「冬休みにおすすめの本」として下記の本をご用意しました。冬休み長期貸出を利用して、じっくり読んでみてはいかがでしょうか。どうぞお気軽に手にとってみてください。

一番最後に紹介している「本を探すための本」は、その分野でどういう本が出ているかを詳しく解説してあります。こういう本でじっくり読みたい本を探してみる方法もあります。

ここでご紹介しているもの以外でも、文庫コーナーには読み物が約700冊ありますし、2階には文学全集もあります。医療系のルポルタージュや闘病記も揃っています(日本のものはラベルが916、海外は936・946 * 2階の奥の棚)。また、看護学の棚N049のラベルのところには看護関係の読み物、医学の棚490.4には医学系の読み物があります。そんなところものぞいてみてください。

ご紹介している本は1月末日までは新着図書棚に置いてあります。それ以降は図書館請求記号の棚をごらんください。また、貸出中のものは予約ができますので、カウンターで申し込んでください。

お気に入りの1冊に出会えることを願っています。



2003.12 新潟県立看護大学・短期大学図書館

目次	
1.	図書館だより14号で紹介されている本
2.	看護が出てくる映画と本(『ナーシングカレッジ』2003年8月号より)
3.	看護師が主人公の小説
4.	県内患者の闘病記・介護記
5.	雪・冬とつきあう
6.	「若い人に贈る読書のすすめ」(読書推進運動協議会選定)2001-2004より
7.	本を探すための本

1. 図書館だより14号で紹介されている本

No.	著者名	書名	出版社	出版年	図書館請求記号	備考
1	ロンダ・シーピンガー著 小川眞里子/[ほか]訳	ジェンダーは科学を変える!? 医学・霊長類学から物理学・数学まで	工作舎	2002	404-Sc3	ジェンダーの視点から新しい科学の可能性をさぐる。
2	シルヴィア・ナサー／著 塩川優／訳	ビューティフル・マインド 天才数学者の絶望と奇跡	新潮社	2002	289.3-N55	40年近い統合失調症からノーベル賞を受賞した数学者の伝記。2001年映画の原作。
3	ジャレド・ダイヤモンド／著 倉骨彰／訳	銃・病原菌・鉄 一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎 上・下	草思社	2000	204-D71	人類史を動かしてきた要因を詳細に分析。ピュリッツァー賞、コスモス国際賞受賞作。
4	横山蒼鳳	医者を知事 君健男 そのぬくもりをさがして	新潟日報事業社	2003	地域289.1-Ki32	新潟県知事を4期つとめた医師出身の君健男を県立病院職員であった著者が書く。
5	鎌田實	がんばらない	集英社	2000	490.49-Ka31	諏訪中央病院院長である著者が患者やその家族との交流を描くエッセイ。

2. 看護が出てくる映画と本(『月刊ナーシング』2003年8月号特集より)

当館で所蔵しているもののみご紹介しています。それ以外は上記雑誌をごらんください。

No.	著者名	書名	出版社	出版年	図書館請求記号	備考
6	寺本松野	看護のなかの死	日本看護協会出版会	1985	N980-Te53	長年病院に勤務した看護師が書いた死への看護の記録。『看護実践から看護研究へ「看護のなかの死」から何を学ぶか』(N980-U95)あり。
7	チャールズ・M.シュルツ /作 細谷亮太/訳	チャーリー・ブラウンなぜなんだい? と もだちがおもい病気になったとき	岩崎書店	1991	N400.3-Sc8	アメリカの看護師がスヌーピーの作者に手紙を書いて実現した絵本。
8	望月春江	生きるってすばらしいね 植物状態から の脱出 増補版 付記/22年後の報告	日本看護協会出版会	1998	916-Mo12	交通事故で植物状態になった看護学生と母親のリハビリ奮闘記。1981年の初版もあり。
9	遠藤周作	海と毒薬	新潮社	1970 1969	文庫913.6-E59 918.6-Sh61-56 (『遠藤周作集』)	戦争末期、アメリカ軍捕虜を生体解剖した事件を小説化。ルポの上坂冬子『生体解剖 九州大学医学部事件』(916-Ka38)もあり。
10	オリヴァー・サックス/ 著 春日井晶子/訳	レナードの朝	早川書房	2000	494.73-Sa12	嗜眠性脳炎による30年の昏睡から目覚めた患者たちを医師である著者が書く。1990年映画のもとになった作品。DVD(視聴覚資料778.253-R27)もあり。

3. 看護師が主人公の小説

No.	著者名	書名	出版社	出版年	図書館請求記号	備考
11	江川晴	看護婦物語	読売新聞社	1982	N049-E29	看護師が書いたドキュメンタリー小説。他にも著書多数。当館では4冊所蔵。
12	小林光恵	ナースマン 新米看護師物語	メディアワークス	1999	N049-Ko12	新米男性看護師4人の物語。他にも著書多数。著者原案『おたんこナース』(漫画)もあり。
13	宮子あずさ	看護婦たちの物語	弓立社	1992	N049-Mi76	内科病棟の看護師が同病棟を舞台に書いた小説。他にも著書多数。当館では17冊所蔵。
14	永井明	看護婦ヒロタの場合	平凡社	1994	N049-N14	元医師が書いた小説。他の著書に『ぼくが医者がやめた理由』(490.4-N14)など。
15	清水みよこ	病棟プリンセス 看護婦純愛物語	照林社	1992	N049-Sh49	著者は元看護師。他の著書に『ナースのきもち』『愛の看護詩集』(N049-Sh49)など。
16	貴山じゅん	ベジタブル	立風書房	1997	N049-Ki84	看護学部3年最初の実習で受け持った患者は「ベジタブル」=植物状態だった…。
17	貴山じゅん	ストマック・チューブ	立風書房	1999	N049-Ki84	上記続編。指導教員、学生、患者家族などの目から書く。著者は川崎市立看護短大教授。
18	帯木蓬生	安楽病棟	新潮社	2001	N049-H14	看護大学を卒業して痴呆病棟で働く新人看護師が気づいたものは…。著者は精神科医。
19	北川悦吏子	最後の恋	角川書店	1999	文庫913.6-Ki63	1997年常盤貴子&中居正広主演ドラマのノベライズ。最後にヒロインは看護師をめざす。

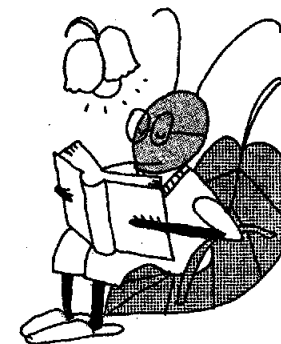
4. 県内患者の闘病記・介護記

闘病記・介護記は数多く出ていますが、県内の人が書いたものとなると、出てくる地名や病院名などから、より身近に感じられるのではないのでしょうか。

No.	著者名	書名	出版社	出版年	図書館請求記号	備考
20	羽田紗織	色鉛筆がくれた希望 クローン病を患って見つけた幸せのかたち	アートダイジェスト	2003	地域916-H29	県立がんセンターに入退院を繰り返す中で看護師の言葉がきっかけで絵を書くようになる。
21	原宏道／著 若林佑子／編	病床からの発信 原宏道遺稿集	考古堂書店	1994	地域916-H31	高校生で糖尿病を発病、新潟市民病院で亡くなるまでの10年以上の入院生活を綴る。
22	伊奈田晴生	武蔵野・ゆめ・物語 続 低肺・いのちのドキュメント2 完 片肺人生40年の軌跡	新潟日報事業社	2000 2003	地域916-I51	結核で片肺を切除、その後社会復帰した著者の闘病記など。現在は上越市のケアハウス在住。
23	遁所彊二	期待せず諦めず 頸髄損傷の息子と共に	近代文芸社	1996	地域916-To63	大学生生活途中で事故に遭い新潟中央病院に入院。自立をめざす息子の姿を父親が綴る。
24	守岡勇二	難病から得たもの 守岡勇二詩文集	[自費出版]	2000	地域911.56-Mo62	新潟市の進行性筋ジストロフィーの青年が綴った詩・闘病記。
25	宮村堅弥	ごめんネ幸子 私はこうして妻のボケを治した	新潟日報事業社	1984	地域916-Mi78	夫の退職後、妻はパーキンソン氏病を発病、「ぼけ」も始まる。夫の家庭看護の記録。

5. 雪・冬とつきあう

No.	著者名	書名	出版社	出版年	図書館請求記号	備考
26	朝日新聞新潟支局／編	新潟の？(はてな)	新潟日報事業社	2003	地域291.41-A82	「年越しは寿司?」「スキーは苦手?」など、転勤族の目で新潟の疑問を徹底取材。
27	快適住まい環境研究会	上越地域における快適で安心な住まい環境に関する研究 快適住まい環境研究会の7年間のあゆみ	快適住まい環境研究会	2003	本学・地域 527.1-J59	本学内の研究会によるもの。
28	新潟県立歴史博物館／編	新潟県立歴史博物館常設展示図録	新潟県立歴史博物館	2000	地域214.1-N72	「雪とくらし」の項目で昔の高田の様子が再現。
29	『雪国の視座 ゆきつもる国から』編集委員会	雪国の視座 ゆきつもる国から	毎日新聞社	2001	地域451.66-Y97	「バリアフリーと雪国のまちづくり」など雪国における様々な問題を解説。参考文献リストあり。
30	黒岩卓夫	地域医療の冒険 みんなの「健康やまとびあ」をひらく	日本地域社会研究所	1987	地域498.021-Ku73	東京から新潟県大和町に赴任してきた元ゆきぐに大和総合病院長の手記。
31	鈴木牧之／著 田村賢一／訳・著 荒木常能／訳	北越雪譜物語 北越雪譜 現代語訳	新潟日報事業社 野島出版	1979 1996	地域914.5-Su94 地域914.5-Su94	江戸時代、越後の冬を全国に知らせた本。



6. 「若い人に贈る読書のすすめ」(読書推進運動協議会選定)2001-2004より

No.	著者名	書名	出版社	出版年	図書館請求記号	備考
32	勸堂流	SARSの衝撃	実業之日本社	2003	302.22-Ka51	中国や世界の政治・経済面などからSARSを多角的に分析。
33	宮部みゆき	ブレイブ・ストーリー 上・下	角川書店	2003	913.6-Mi71	小学5年生の主人公は異世界へ旅立った…。ファンタジー長編小説。
34	宮部みゆき	模倣犯 上・下	小学館	2001	913.6-Mi71	長編ミステリー。2002年に映画化。他にも宮部みゆきの本は9冊所蔵。
35	大平光代	だから、あなたも生きぬいて	講談社	2000	289.1-O29	いじめ、割腹自殺未遂、「極道の妻」、そして弁護士へ…。激動の人生を綴る。
36	J・K・ローリング/作 松岡祐子/訳	ハリーポッター [シリーズ現在4冊刊行]	静山社	1999 -2002	933.7-R78	世界中の大ベストセラー小説。原書もあり。冬休み楽しく英語に挑戦してみては？

7. 本を探すための本

No.	著者名	書名	出版社	出版年	図書館請求記号	備考
37	前田志奈子	いのち輝く 闘病記100冊から学ぶ	看護の科学社	1991	N049-Ma26	看護師が、患者の目に看護がどう映っているかを求めて闘病記を探して書いた本。
38	清水昭美	文学のなかの看護 第1・2集	医学書院	1985 ・1992	N049-Sh49	文学作品は人間の姿をよくわかるように示してくれる…。看護師が書いた本。
39	アルフォンス・デーケン 梅原優毅/編著	死への準備教育のための120冊	吾妻書房	1999	114.2-D53	12のジャンルから収録。掲載図書は原則的に当時購入可だったもの。
40	朝日新聞社/編	「癒し」を学ぶ500冊	朝日新聞社	2001	160-A82	看護学、心理学、精神医学、童話学、宗教など10の分野から広く選択。
41	女性学研究所/編	女性学ブックガイド「青鞥」からフェミニズムまで(現代のエスプリ別冊)	至文堂	1985	367.2-J76	「女の心とからだ」「福祉と老人問題」など10の項目から1328冊を収録。
42	阿部秀雄/編	「自閉」の本九十九冊 増補	学苑社	1990	493.937-A12	自閉症に関する本を「行動療法の本」「親が書いた本」など22の分類に分けて紹介。
43	梅谷薫	小説で読む生老病死	医学書院	2003	910.2-U73	医師が医療・看護・福祉現場の若い人を対象として書いた本。紹介されている本はほぼ全て図書館で所蔵。
44	野坂昭如/編	日本の名随筆8 死	作品社	1983	914.68-N71-8	日本の名随筆から死に関するものを集めた本。ブックガイド付。
45	岩波書店編集部/編	岩波新書をよむ ブックガイド+総目録	岩波書店	1998	新書025.9-195	「からだ探検」「育児書をよむ」などの項あり。1994年以降発行の岩波新書は全点購入。
46	佐高信	戦後を読む 50冊のフィクション	岩波書店	1995	新書203.1-Sa83	著者は評論家。時にフィクションはノンフィクションより事実を語ることも…。
47	図書館流通センター企画編集室	福祉関係総合図書目録 上・下	図書館流通センター	2002	窓下369.031-To72	1981年から2001年6月末までに刊行された図書から約2万6千冊を収録。
48	日外アソシエーツ/編	高齢者問題の本全情報 82/99	日外アソシエーツ	2000	窓下367.7-N71	該当期間に日本で発行された本を網羅的にテーマ別に詳細に分類したシリーズ。
49	日外アソシエーツ/編	青少年問題の本全情報 45/97	日外アソシエーツ	1998	窓下367.6-N71	
50	日外アソシエーツ/編	医療問題の本全情報 45/96	日外アソシエーツ	1996	窓下490.31-N71	



——国際大学図書館を訪ねて——

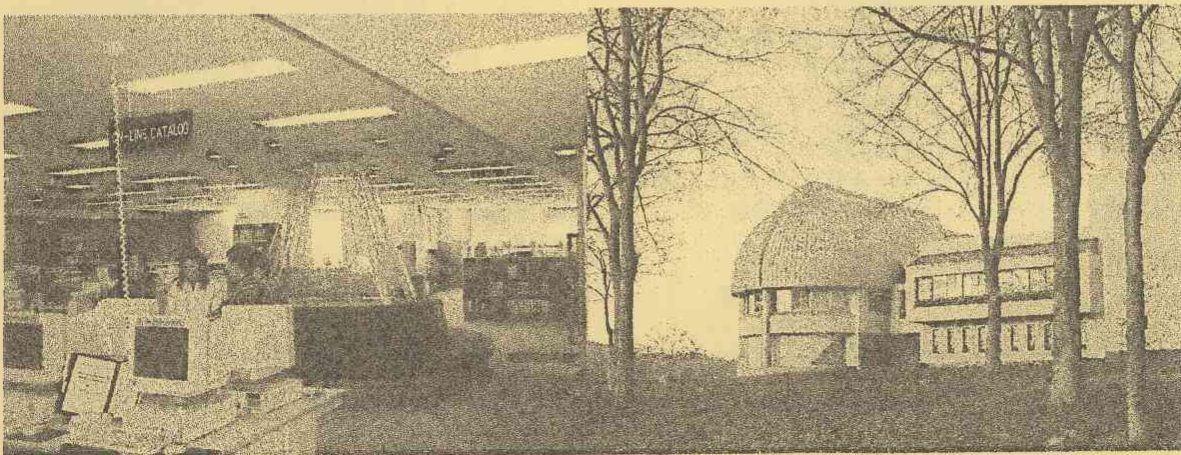
大学図書館長 富川 孝子

越後三山の一つ、八海山の麓の南魚沼郡大和町にある国際大学は、浦佐駅から車で 10 分のところにある。1982 年に開学した、修士課程のみからなる大学院大学であり、国際関係学研究所と国際経営学研究所がある。経営学修士号 (MBA) を取得できる国際経営学研究所は、このほど英国「エコノミスト・インテリジェンス・ユニット」社の「グローバル・ビジネススクール・ランキング」で世界 82 位を獲得した。日本のビジネススクールが世界のトップ 100 に入ったのは初めてである。授業はすべて英語で行われ、日本人学生は学生総数 260 名の 2 割、約 50 名である。近年はアジアからの留学生が増えているという。

図書館は松下図書情報センター (Matsushita Library and Information Center) と呼ばれ、地上 3 階、地下 1 階の建物である。1 階は 2 つの広いコンピューター室がある。2 階は図書館の心臓部であり、図書、雑誌、新聞、サービスカウンター、コピー機等がある。3 階は講堂 (100 人規模) と図書館事務室がある。閲覧席は 80 席、蔵書数は約 12 万冊、雑誌数は約 250 種、新聞数は 15 種である。大学を卒業して就職経験をもつ学生や海外からの留学生が多く学ぶ大学院大学であるため、学生は自立しており、自分で学ぶ姿勢を確立している人が多いと推測される。このような学生が利用する図書館のあり方をそのまま本学図書館に適用できるとは思わないが、参考にすべき点も多い。

ほぼ全寮制をとっているため、コンピューター室は 24 時間使用可であり、図書館の開館時間も月～金曜日 (8:40-24:00)、土・日曜日 (12:00-24:00) となっている。授業を受ける上で教員から読むことを要求される図書や雑誌論文を、学生はシラバスとリンクしたリスト (Course Reserve List) から探し、必要な図書を 5 冊まで 3 時間貸出を受けられる。本学図書館では禁帯出になっている辞典・事典類、年鑑、白書や製本された修士論文も 3 時間貸出を受けられる。ただし、返却時間を守らないと他の学生に迷惑をかけるので、返却が 10 分遅れる毎に 100 円または 50 円を支払わなければならない規則になっている。これだけの図書館を専任 3 名、臨職 1 名というスタッフで運営していることに驚いたが、専任スタッフの指導のもとに学生アルバイト 10 名がローテーションでカウンター業務や書架整理を担当しており、カウンターで学生だからこそ出来る助言も多いようである。専任スタッフは毎年 1 ヶ月をかけて新人の学生アルバイトを教育しているという。

最後に、貴重な時間をさいて、懇切丁寧な説明をして下さった事務室長の森山様、司書の小島様に心から御礼を申し上げます。(国際大学の URL は <http://www.iuj.ac.jp/>)



図書館利用者端末コーナー

図書館の建物全景

寄贈者一覧(2002年11月-2003年11月受入分)

下記のみなさまに図書をご寄贈いただきました。大変ありがとうございました。

(五十音順 敬称略)

<あ行>

愛知県立大学
青森大学
秋田県立大学短期大学部
朝倉京子
新しい学術体系委員会
阿部昌子
飯田勝
医学書院
医学評論社
医歯薬出版
稲田明夫
内田玲子
エネルギー環境教育情報センター
大久保明子
大阪工業大学
大阪女子大学
大阪市立大学
大阪市立大学看護短期大学部
大阪府立看護大学
大阪府立看護大学看護学部

<か行>

香川県立医療短期大学
河川環境管理財団
鹿屋体育大学
神奈川県立外語短期大学
川崎市立看護短期大学
共済会
京都ノートルダム女子大学
京都府立大学
結核予防結核研究所
神戸大学共同研究開発センター
国際医療福祉大学
国立教育政策研究所
国立公文書館
国立国語研究所
国立情報学研究所
国立女性教育会館
こども未来財団
小林恵子
ごま書房

<さ行>

埼玉県立大学短期大学部
佐々木美佐子
自治医科大学
上越教育大学
上越市
上越市環境部環境管理課
上越市産業環境部環境企画課
信州大学医学部保健学科
信州大学医療技術短期大学部
真興交易医書出版部
杉田収
青年海外協力会看護職ネットワーク
関谷伸一
全国公立短期大学協会

<た行>

大学改革研究会
大学評価・学位授与機構
第21回全国地域保健婦学術研究会事務局
第24回全国地域保健師学術研究会実行委員会事務局
高塚麻由
千葉大学
長寿科学振興財団
長寿社会開発センター
筑波大学
筑波大学産学リエゾン共同センター
堤尚子
天扇会 あいセーフティーネット
桐蔭横浜大学
東京大学
東京大学医学部
東京大学大学総合教育研究センター
東京大学総合研究センター
東京電力環境部環境管理グループ
東京都立大学
東京都立保健科学大学
東京理科大学
東北大学

<な行>

内閣官房内閣府
内閣府国際平和協力本部事務局
長岡造形大学
中島紀恵子
長野厚生農業共同組合連合会 長野松代総合病院
名古屋大学医学部保健学科
新潟県県民生活・環境部男女平等社会推進課
新潟県国際交流協会
新潟県産業労働部
新潟県産業労働部原子力安全・資源対策課
新潟県産業労働部産業振興課
新潟県総合政策部国際交流課
新潟県総合政策部統計課
新潟県福祉保健部
新潟県理学療法士会
新潟県立西新発田高等学校
新潟県立図書館
新潟県立図書館企画協力課
新潟大学
新潟大学医学部保健学科
新潟大学総務部国際交流課国際学術係
新潟日報事業社
新見公立短期大学
西日本工業大学
日本看護学校協議会共済会
日本看護協会
日本看護協会共済会
日本看護協会出版会
日本呼吸器学会
日本消費者カウンセリング基金
日本精神科病院協会
日本図書館協会
日本模試センター
日本ユネスコ協会連盟
ヌーヴェルヒロカワ
野地有子

<は行>

早野真佐子
兵庫県立看護大学
福井医科大学医学部附属病院看護部
福岡県立大学
福岡女学院大学
北海道大学研究発表編集委員会

<ま行>

三浦亮教授退官記念業績集編集委員会
三重短期大学
宮崎県立看護大学
宮崎公立大学
宮崎公立大学広報委員会
民生教育協会
村津和正
村山和夫
森美智子
文部科学省
文部科学省生涯学習政策局政策課

<や行>

柳沢美枝子
山形大学
山形大学医学部看護学科
山本澄子
山本達男
山本容代
横浜市立大学看護短期大学部
読売新聞東京本社

<ら行>

李秉昌

<アルファベット>

JAWOC
JHY新潟県協会

編集後記

新潟から上越に来て早8か月が過ぎました。上越は新潟県色が薄いということをつねづね感じています。県内に方言がほとんどない地域があることも初めて知りました。しかし、県立大学である以上、やっぱり新潟県内のことをもっとよく知ってほしいなと思います。地域資料コーナーをぜひ活用してください。高田の長い冬に「冬休みにおすすめの本」もぜひどうぞ。(あ)

図書館だより 第14号 2003年12月12日発行
編集：図書委員会
発行：新潟県立看護大学図書館・短期大学図書館
〒943-0147上越市新南町240番地
TEL(025)-526-1169(直通)
E-mail tosy@niigata-cn.ac.jp
URL http://lib.niigata-cn.ac.jp/